

同窓会報

発行
愛知県立渥美農業高等学校
同窓会事務局
TEL 0531-2210406
FAX 0531-2216462

同窓会長挨拶



同窓会会長
鈴木達司

愛知県立渥美農業高等学校、創立60周年記念事業に当たり、同窓会員はもとより、地域の皆様方からご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。さて、創立50周年以降の10年間、母校では、12回の相互交換派遣を致したオランダ王国との姉妹校交流、カクメロを始めとしたプロジェクト活動、男子ソフトテニス部のインターハイ出場、卓球部及び陸上部の東海大会出場、野球部の夏の大会5回戦進出など研究活動や部活動などの活躍には目覚ましいものがあります。そして、それらによって培われる国際感覚、研究心、忍耐力、勤労精神などを備えた人づくりを通して、地域社会への貢献がより確かなものとなってまいりました。そこで、60周年記念事業におきましては、母校の諸活動を支援し、さらなる躍進を遂げていただくため、同窓会・PTA・国際交流基金の補填、部活動等への援助、記念誌の発行を柱とする記念事業を計画して、募金を行って参りました。昨今の厳しい経済情勢の中、記念事業の躍進のため、ひとかたならぬご援助を賜り、母校に対する地域や同窓生からの期待の大きさを痛感しました。

皆様からのご厚意は、母校の今後の活躍を支援し、さらなる躍進のために使わせていただきます。そして、その成果は生徒達の心の支えとなり、末永く語り継がれていくものと思っております。最後に母校のますますの躍進を祈念しお礼とさせていただきます。

校長挨拶



校長
鈴木昭

同窓生の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。特に、本年創立六十周年を迎えるに当たり、同窓会におかれましては、創立六十周年記念事業実行委員会を組織し、国際交流基金への寄付、部活動への援助、記念誌の発行等の事業を計画、実施していただきましたことに対し、本校職員を代表し厚くお礼申し上げます。昭和二十六年の開校以来、本校には地域農業の後継者および地域産業の担い手の育成が地域から強く求められてまいりました。時代の変遷とともに教育内容の改善と学科改編等を重ねてまいりましたが、地域から寄せられる

期待と本校の使命は、創立以来現在も変わることはありません。今後も地域社会の発展のために、時代の変化に即応した農業教育を推進し、将来のスペシャリストを育成しなければならぬと考えています。私も教職員は、この記念すべき六十周年を契機として、創立の精神を再認識し、先輩各位の築かれた歴史と伝統を引き継ぎ、地域社会の期待に一層応えるため、心を新たに本校発展のため全力を尽くす所存であります。私は、今後もあらゆる機会をとらえて、目の前にいる生徒一人ひとりの潜在能力を引き出し、大きく成長させたいと考えています。大切な生徒ゆえに、愛情を込めて厳しく指導し、伸ばしていきたいと思っております。創立六十周年を契機に、魅力と活力ある学校づくりをより一層推進したいと考えています。地域に貢献できる人材の育成と地域から愛される渥美農業高校をめざし、全教職員の協力を得て、日々の教育活動に全力で取り組む所存であります。今後同窓生の皆様の御理解と御支援をお願い申し上げます。

愛知県立渥美農業高等学校 創立六十周年記念事業目録贈呈式

平成二十二年七月十五日、愛知県立渥美農業高等学校創立六十周年記念事業目録贈呈式が、創立六十周年記念事業実行委員会、生徒、教職員、総勢五三九名が参集し、母校体育館で開催されました。式典報告は以下のとおりです。

- 一、次第
 - (一) 開式のことば
 - (二) 愛知県立渥美農業高等学校 創立六十周年記念事業 実行委員長あいさつ
 - (三) 記念事業目録贈呈
 - (四) 来賓祝辞
 - (五) 来賓紹介
 - (六) 生徒代表誓いのことば

年、地元十一町村の総意と請願によって創立されました。そして、六十周年を迎えるに至り、現在では同窓生の数は一万名を超えています。しかも、その九十%以上の方が、田原市と豊橋市に在住し、農業を中心とした地域産業に携わっていることを皆さんはご存じでしょうか。さて、西暦二〇〇〇年の五十周年以降の十年間には、渥美生徒達の目覚ましい活躍があります。香港で商標登録し販売を開始したカクメロをはじめとしたプロジェクト活動、男子ソフトテニス部のインターハイ出場、卓球部及び陸上部の東海大会出場、夏の大会では五回戦に進出する実力をつけた野球部をはじめとする部活動、また、職業意識を育成することを目的とした渥美ふれあいアグリ体験など、活気に溢れています。そこで、渥美農高生徒諸君の活躍を援助し、さらなる躍進を期するために、渥美農業高等学校創立六十周年記念事業の目的を、

第一に、同窓会・PTA国際交流基金の補填
第二に、部活動への援助
第三に、記念誌の発行
として推進して参りました。このたびの創立六十周年記念事業に對しましては、趣旨にご賛同いただいた地元産業界、旧職員、篤志家、同窓生の方々などから格別なるご支援をいただきました。私は母校を訪れたとき、校長先生をはじめ先方の方々の指導が行きとどいた生徒諸君のすばらしいあいさつに感心しています。地域の方々にもぜひ一度、渥美農高を訪れてみてはいかがでしょうかと勧められています。生徒諸君が、渥美農高のために格別のご支援とご協力をくださった方々のご厚意にこたえるため一層の努力をして

ださい。また、さらに向上しようとする心をもって、日々の高校生活に最善を尽くすことを期待します。最後に渥美農業高校六十周年記念事業に、ご支援ご尽力いただきました皆様方に、心より感謝申し上げます、私のあいさついたします。

- (七) 校長謝辞
- (八) 閉式のことば
- (九) 愛知県立渥美農業高等学校同窓会・PTA国際交流実行委員会 姉妹校派遣研修報告

- 二、実行委員長あいさつ
 - 愛知県立渥美農業高等学校 創立六十周年記念事業実行委員会 委員長 河辺 勝巳
 - 愛知県立渥美農業高等学校創立六十周年記念事業目録贈呈式に当たり、記念事業実行委員会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。本校は、戦後の復興は農村の繁栄にあり、渥美郡の農業の振興は人材育成にありとの理念から、昭和二十



先ほど実行委員長さんのご挨拶にもありましたが、最近の母校の活躍には目覚ましいものがあります。同窓生として大変喜ばしく思います。同窓会としては、創立六十周年を迎えるに当たり、母校の活躍を援助し、さらなる躍進を期するため、記念事業に賛同して参りました。同窓会員を始め地域産業界など、多数の方々より本事業にご支援をいただくことができました。二十一世紀は、食料と環境の時代といわれ、農業が必ず見直される時代で

あると確信しています。この事業を機に、母校のさらなる発展を切望し、母校の六十周年をお祝いし、今後益々の発展を心よりお祈りし、お祝いの言葉といたします。

本校の国際交流事業の大きな特徴は、ホームステイを通じた体験学習を中心とし、研修で得た知識や技術を地域の国際化に寄与することを目的としていることです。

ただ今、愛知県立渥美農業高等学校創立六十周年記念事業実行委員会を代表して、委員長の河辺勝巳様より、楽器、パソコン、卓球ゲームマシン、テント、練習指揮台、投光器を寄贈いただきました。本当にありがとうございます。生徒を代表して心からお礼申し上げます。私たち生徒一同は、諸先輩や地域の方々の期待に応えるため、今後も精一杯勉強や部活動などに励み、母校の名前を高めていくことを誓います。

さきほどは記念事業記念品として、各部活動強化のために高額な品々を多数寄贈いただき、誠にありがとうございます。これらの品々を日々の部活動において活用し、より一層の競技力向上に結びつけて行きます。また、この記念すべき六十周年を契機として、創立の精神を再認識し、先輩各位の築かれた歴史と伝統を引き継ぎ、地域に貢献できる人材の育成と地域から愛される生徒・学校をめざし、日々の教育活動に全力で取り組む所存です。

本校の創立六十周年記念に当たり、同窓会を代表してお祝いを申し上げます。皆さんご存じの通り、本校とオランダ王国ウエラントカレッジとの姉妹校交流は、創立五十周年の記念事業として始まり、今年第十二回目の派遣団を送りました。この事業は、地域の国際化推進と国際感覚を持った人づくりを通して地域の振興に寄与しております。

本校の創立六十周年記念に当たり、同窓会を代表してお祝いを申し上げます。皆さんご存じの通り、本校とオランダ王国ウエラントカレッジとの姉妹校交流は、創立五十周年の記念事業として始まり、今年第十二回目の派遣団を送りました。この事業は、地域の国際化推進と国際感覚を持った人づくりを通して地域の振興に寄与しております。



平成21年度決算書

収入 808,650円
支出 742,279円
差引 66,371円

【収入の部】 (単位:円)			
項目	予算額	決算額	比較増減
繰越金	33,406	33,406	0
人会金	775,000	775,000	0
寄付金	0	0	0
会報購読費	0	0	0
雑収入	1,594	244	△1,350
合計	810,000	808,650	△1,350

【支出の部】 (単位:円)			
項目	当初予算	補正予算	流用増減
会議費	60,000	0	0
総会費	15,000	0	0
役員会議費	45,000	0	0
事務局費	65,000	0	0
事務用品費	20,000	0	0
通信費	40,000	0	0
事務局会議費	5,000	0	0
事業費	440,000	△300,000	140,000
特別事業費	50,000	△40,000	10,000
同窓会会報	250,000	△250,000	0
経費・雑費	20,000	△10,000	10,000
卒業記念品代	120,000	0	120,000
積立金	200,000	0	300,000
基本積立金	100,000	0	200,000
特別積立金	100,000	0	300,000
慶弔費	35,000	0	35,000
予備費	10,000	0	10,000
合計	810,000	0	810,000

【平成21年度 会計監査報告】

通日、平成21年度末までの会計監査を実施致しました結果、関係諸帳簿及び領収書等よく整備されており通帳等との残高照合したところ、適切に処理されていたので御報告致します。
平成22年4月28日
監査員 宮下 和彦 桑名 重夫

渥美農業高校創立60周年記念事業会計決算書

収入 12,504,096円
支出 10,986,368円
残 1,517,728円 (同窓会計へ返金)

1. 収入の部 (単位:円)			
項目	決算額	摘要	
寄付金	7,810,000	同窓生会員・企業等募金	
同窓会補助金	3,940,544	同窓会会計・同積立金	
雑収入	753,552	預金利息他	
合計	12,504,096		

2. 支出の部 (単位:円)			
項目	決算額	摘要	
運営費	142,335		
振込手数料	71,400	募金振込料負担分	
連絡通信費	28,817	切手他購入費	
会議費	24,800	実行委員会会議経費	
事務局事務費	15,848	実行委員長印他消耗品購入費	
雑費	1,470	謝礼	
事業費	10,844,033		
記念誌発行費	865,305	900部	
募金趣意書印刷発送費	1,190,515	9,510部	
同窓会報発行費	234,210	1,690部	
国際交流基金積立金	5,662,293		
渥美農業高校部活動設備	2,891,710		
楽器(マリン)	350,000	(吹奏楽部)	
"(ピッコロ)	120,000	"	
"(ティンパニ)	430,000	"	
パソコン	658,560	(農業クラブ部)	
サーブマシン	540,000	(卓球部)	
テント	82,950	(ソフトテニス部)	
練習指揮台	160,000	(バレーボール部)	
投光器	550,200	(野球部)	
合計	10,986,368		

【監査報告】
愛知県立渥美農業高等学校創立60周年記念事業会計収入支出の執行状況について監査の結果、会計処理及び諸帳簿・証拠書類ともに適正かつ正確に処理されていたことを報告します。
平成22年11月12日
監査員 宮下 和彦 桑名 重夫

活躍する部活動

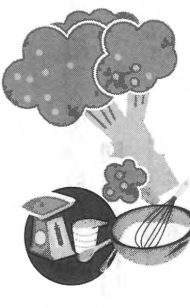
卓球部顧問 渡辺 廣嗣

現在、渥美農業高校卓球部は、男子14名、女子10名で活動しています。男子の人数が若干少なくなりましたが、2年前久しぶりになり女子が入部し、少し華やかな感じになっています。活動成績は、男子においては平成14年から現在まで東三河大会でベスト4を外したことはなく、常に県大会出場を果たしています。しかし、東海大会、全国大会の壁は厚く、愛工大名電高校、杜若高校の2強と桜丘、岡崎城西等に阻まれ、なかなか上位大会へ出場することができません。なんとか、県ベスト4の壁を破って東海大会や全国大会へ出場したいと頑張っています。OBにもなじみの深い高校リーグは、残念ながら現在2部です。昨年度までは1部をキープし、桜丘や岡崎城西を破って1部4位にもなりましたが2部へ降格してしまいました。現在の2部校は相当強いので1部昇格もなかなか困難ではありますが、早く1部の6校へ戻れるよう頑張りたいと思います。また、中部日本卓球選手権大会や東海卓球選手権大会へもこれまで多くの選手が出場しています。続いて女子ですが、2年前に入部したばかりでなかなか結果を残すことはできませんでしたが、昨年度の新人戦東三河予選では5位となり、初めて県大会に出場しました。満を持して臨んだ今年度の高校総体東三河予選では、惜しくもベスト4を逃し、昨年度同様の5位に終わってしまいました。ただ、男子同様、全員やる気を持って練習に取り組んでいるので、必ず近い将来良い結果が出ると思っています。

「特産品の生産を目指して」
食品科学部顧問 榎原 範恵
みなさん、プロッコリって好きですか? 「嫌いだ! 食べたことない!」



普段の活動は、中学までの経験の浅い選手が多いため、ほとんど休みもなく、毎日の練習も長時間に渡って行われています。また、なるべく多くの大会にも参加して経験を積ませるとともに、練習試合を数多く組んでいます。練習試合の相手も他県のインターハイ出場校や県ベスト4に入る学校がほとんどで、これによって選手のレベルが短期間に飛躍的に向上していると考えています。ただ、まだまだ技術的にも精神的にも未熟な選手と監督ですので、これからさらに精進し、新しい技術や考え方を積極的に取り入れて、団体で東海や全国へ行けるよう頑張っていきたいと思っています。また日頃は、多くのOBの方々が大会の応援に来てくださったり、差し入れをしてくださる方も、大変感謝しています。これからもしっかりとご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。



「大好きだからいつも食べてる。」と、いろいろな人がいると思います。でも、サラダやシチューのわき役として使われるプロッコリは主役としての料理が少ないと思いませんか? しかも、プロッコリは田原市が全国生産量第一位なのです。ご存知でしたか?
私たち食品科学部はこのプロッコリに注目し、三年生五年、二年生一名で研究を開始しました。そして、プロッコリを使ったメロンパン、その名も「メロッコリ」を造り上げました。第三回しみんの広場での試食アンケートを始めて、校内とPTA総会での販売で既に食べられた方もいらっしゃいます。今年も低温によりプロッコリの価格も高く、値段設定も悩みましたが、さすが! 渥美農業高校、生徒の一人のプロッコリ農家から融通してもらうことができました。本日ももったたくさん製造してたくさんの方々に食べてもらいたいと思っています。ですが、販売するには製造許可を保健所から受けなければいけません。食品科学科は昨年、イチゴジャムとマーメイドの許可を取りました。しかし、許可を受けるにはお金も時間も掛かります。そこで、私たちは田原市内にある喫茶店「J's」に協力してもらい、ティーズ店内でメロッコリを造らせてもらいました。
まだまだ普及のための問題は山積みですが、特産品「メロッコリ」の普及を目指して活動を続けていきます。

部活動結果速報

- 卓球部
 - 第43回愛知県全三河新人卓球大会(4/25) 一般女子シングルス ベスト8 馬場彩華(3D)
 - 平成22年度愛知県高校総体東三河予選 高校男子シングルス (5/1・3) 7位 伊藤孝浩(3C) 8位 太田将人(3B) 9位 山田悠大(2B)
 - 高校男子ダブルス 5位 伊藤孝浩(3C) 太田将人(3B) 3位 伊藤孝浩(3C) 藤井亮輔(2B) 紅林元樹(3C) 藤井亮輔(2B) 榎谷朋美(2D) 山本愛梨(2C) 吉田英里(1A) 藤代江里菜(1D) 荒木康平(2B) 宮本 要(3B)
 - 女子団体 5位 馬場彩華(3D) 松下佳奈子(3D) 杉原愛美(3D) 佐藤由里子(3D) 榎谷朋美(2D) 山本愛梨(2C) 吉田英里(1A) 藤代江里菜(1D)
 - 第34回三遠新人卓球大会(5/15) 高校男子シングルス 3位 榎谷朋美(2D) 榎谷朋美(2D) ベスト16 根木和輝(1C) 根木和輝(1C) 高校女子シングルス ベスト2 馬場彩華(3D) 馬場彩華(3D) 平成22年度愛知県高等学校総合体育大会 男子団体 ベスト8 伊藤孝浩(3C) 太田将人(3B) 紅林元樹(3C) 藤井亮輔(2B) 榎谷朋美(2D) 山田悠大(2B) 荒木康平(2B) 宮本 要(3B) 高校男子ダブルス ベスト16 伊藤孝浩(3C) 太田将人(3B) 平成22年度国民体育大会東三河予選(6/13) 少年男子シングルス 5位 紅林元樹(3C) 山田悠大(2B) 以上推薦大会出場
 - ベスト32 榎谷朋美(2D) 榎谷朋美(2D)

- 陸上競技部
 - 第64回愛知県高等学校総合体育大会 東三河予選(5/1・2) 400m 1位 山本将司(3C) 100m 1位 山本将司(3C) 400m H 1位 山本将司(3C) やり投 5位 林 伸悟(3B) 4x100m R 2位 林 伸悟(3B) 山本将司(3C) 山本将司(3C) 山本将司(3C) 4x400m R 3位 西澤 翔(3A) 松山雅峰(2A) 1500m 4位 松山雅峰(2A) 円盤投 4位 鈴木三菜穂(3C) ソフトテニス部 第64回愛知県高等学校総合体育大会 個人の部 9位 吉田英里(3B) 宮原 司(2C) 以上、県大会出場
- 平成22年度(第12回) 姉妹校派遣(USJ)
 - 1 引率教員 2名 教諭 中島 章雄
 - 2 派遣生徒 12名 (男子生徒4名 女子生徒8名) 学 科 クラス 氏 名 施設園芸科 2A 河合 捷太 2B 荒木 康平 2B 田 替 成 貴 2B 森下 潤 紀 2D 金子 奈 穂 2D 高橋 礼 奈 2D 福井 有 沙 2D 松 下 知 夏 2D 大 河 内 菜 央 3D 小 林 愛 3D 佐 藤 由 里 子 3D 杉 原 貴 子 3D
 - 3 派遣期間(予定) 6月7日(月)～6月18日(金)

第12回姉妹校交流に参加して
3D 小林 愛
今回、オランダ派遣研修でオランダの日常生活や食文化、農業に触れることができました。オランダでは、気温が5月の北海道くらいで少し肌寒だったけれど日中は暑くなりました。主食はパンでサンドウィッチが多くバターをぬりチーズと生ハムをはさみました。日本料理と比べ料理の種類が少ないと思いました。農業では日本との規模の違いに驚きました。また、牛、馬、羊がとても多く放牧されていました。
私は、派遣研修に参加することができ本当に良かったです。言葉の違いや食文化の違いで大変な部分もあつたけれど色々成長することができたと思います。言葉が通じなくても気持ちを伝えることもできました。また、集団行動の大変さや人の話をしっかり聞くことの大切さに改めて気づかされました。
2A 河合 捷太
今回、オランダに行つて、色々な体験をしました。その中で、最も大変だと思つたのは、オランダの人と英語で話すことでした。でも、自分からどんな話しかけてみたら、慣れてきたのか、英語で話すことに不安を感じなくなりました。自分の知っている範囲の英語で話して、それが相手に伝わった時、とても嬉しかったです。
あと、周りを見てみると、牛や羊、ウマ、ヤギなど、様々な動物が放牧されて、放牧の面積がとても広かったです。牧場にも行つたりして、乳牛がたくさんいて、とてもびっくりしました。とても大規模な牧場でした。日本との畜産のちがいがたくさんありました。
また、ホストファミリーの人たちも優しい人ばかりで、とてもすごしかったです。この体験を通じて、少し自分に自信がついてよかつたと思います。

